



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 富士重工業株式会社

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 山藤 和典

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-3347-2005
平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,125,638	25.3	150,702	248.4	146,224	222.9	99,811	146.8
25年3月期第2四半期	898,020	37.1	43,257	130.6	45,287	110.0	40,440	23.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 120,811百万円 (294.9%) 25年3月期第2四半期 30,592百万円 (28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	127.90	—
25年3月期第2四半期	51.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,719,257	711,248	41.2
25年3月期	1,577,454	596,813	37.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 708,194百万円 25年3月期 595,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300,000	20.2	278,000	130.9	272,000	170.4	178,000	48.8	228.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	782,865,873 株	25年3月期	782,865,873 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,471,807 株	25年3月期	2,435,448 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	780,411,630 株	25年3月期2Q	780,458,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

＜添付資料 目次＞

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(その他注記情報)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、為替の円高是正に加え、自動車売上台数の増加などにより、1兆1,256億円と前年同期比2,276億円（25.3%）の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が1,507億円と前年同期比1,074億円（248.4%）の増益となり、経常利益につきましても、1,462億円と前年同期比1,009億円（222.9%）の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、998億円と前年同期比594億円（146.8%）の増益となりました。

[セグメントの状況]

第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

国内におけるスバルの登録車につきましては、「インプレッサ」及び「フォレスター」が引き続き好調なことに加え、6月に発売した「SUBARU XV HYBRID」が台数の上積みで寄与したことにより、売上台数は62千台と前年同期比16千台（36.1%）の増加となりました。

一方、軽自動車につきましては、乗用系車種が堅調に推移するものの、商用系車種による落ち込みをカバーできず、売上台数は26千台と前年同期比1千台（3.8%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は87千台と前年同期比15千台（21.3%）の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において「インプレッサ」及び「フォレスター」の販売が好調に推移したことなどにより、売上台数の合計は305千台と前年同期比29千台（10.4%）の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で228千台と前年同期比47千台（26.0%）の増加、ロシアを含む欧州で22千台と前年同期比14千台（39.3%）の減少、豪州で21千台と前年同期比1千台（3.5%）の減少、中国で19千台と前年同期比8千台（28.8%）の減少、その他地域で15千台と前年同期比5千台（43.9%）の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は393千台と前年同期比44千台（12.7%）の増加となり、為替の円高是正も加わり、全体の売上高は、1兆527億円と前年同期比2,223億円（26.8%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、1,423億円と前年同期比1,026億円（258.4%）の増益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、戦闘ヘリコプター「AH-64D」及び、輸送機「C-2」の売上増加により、売上高は前年同期を上回りました。

また、民間向け製品につきましても、「ボーイング777」、「ボーイング787」の売上増加及び為替の円高是正により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は535億円と前年同期比119億円（28.4%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、69億円と前年同期比50億円（266.1%）の増益となりました。

③産業機器事業部門

国内のポンプ用エンジン、アジア向け及び中東向けの販売が伸長したものの、北米向けレジャー用エンジンの販売が減少したことなどにより、売上高は157億円と前年同期比6億円（3.6%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、2億円と前年同期比2億円（57.5%）の減益となりました。

④その他事業部門

その他事業部門に含めておりました「エコテクノロジー事業」を今年3月末日をもって終了したことなどにより、売上高は37億円と前年同期比59億円（61.4%）の減収となりました。セグメント利益につきましては、11億円と前年同期比1億円（7.3%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆7,193億円と前期末に比べ1,418億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と短期資金運用のための有価証券を合わせた手許資金が996億円増加したことなどです。

負債につきましては、1兆80億円と前期末に比べ274億円の増加となりました。主な要因は、短期借入金が134億円減少したものの、未払法人税等が363億円増加したことなどです。

純資産につきましては、7,112億円と前期末に比べ1,144億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が920億円増加したことなどです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,305億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,579億円（前年同四半期連結累計期間は1,103億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を1,453億円計上したことに加え、たな卸資産の減少181億円があったことなどです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は381億円（前年同四半期連結累計期間は324億円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）369億円などです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は243億円（前年同四半期連結累計期間は327億円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の減少131億円、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）26億円、配当金の支払78億円があったことなどです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年7月31日に公表した予想に対し、諸経費等の増加があるものの、為替影響、自動車売上台数の増加や原価低減等による収益の改善が見込まれるため、下記のとおり上方修正させていただきます。

なお、通期の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル97円（前回公表92円）、1ユーロ127円（前回公表122円）となっております。また、第3四半期以降の為替レートは1米ドル95円、1ユーロ125円としております。

平成26年3月期通期連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,080,000	百万円 198,000	百万円 193,000	百万円 121,000	円 銭 155.04
今回修正予想(B)	2,300,000	278,000	272,000	178,000	228.08
増減額(B-A)	220,000	80,000	79,000	57,000	
増減率(%)	10.6	40.4	40.9	47.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,912,968	120,411	100,609	119,588	153.23

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	285,152	236,924
受取手形及び売掛金	124,234	125,557
リース投資資産	22,145	22,556
有価証券	66,370	214,175
商品及び製品	163,852	147,873
仕掛品	50,498	54,092
原材料及び貯蔵品	35,217	33,906
繰延税金資産	52,947	60,131
短期貸付金	96,990	106,588
その他	47,579	50,328
貸倒引当金	△951	△999
流動資産合計	944,033	1,051,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,186	113,141
機械装置及び運搬具（純額）	116,864	113,695
土地	173,012	174,011
賃貸用車両及び器具（純額）	13,062	16,909
建設仮勘定	14,232	21,166
その他（純額）	14,599	13,588
有形固定資産合計	444,955	452,510
無形固定資産		
その他	12,751	13,129
無形固定資産合計	12,751	13,129
投資その他の資産		
投資有価証券	93,054	116,282
繰延税金資産	6,227	7,980
その他	80,425	82,186
貸倒引当金	△3,991	△3,961
投資その他の資産合計	175,715	202,487
固定資産合計	633,421	668,126
資産合計	1,577,454	1,719,257

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,743	244,550
電子記録債務	61,595	62,843
短期借入金	60,867	47,496
1年内返済予定の長期借入金	45,197	61,994
1年内償還予定の社債	10	4,010
未払法人税等	7,828	44,139
未払費用	83,032	78,813
賞与引当金	17,865	18,207
製品保証引当金	34,740	36,068
工事損失引当金	918	928
事業譲渡損失引当金	2,550	2,331
訴訟損失引当金	369	—
その他	99,317	92,466
流動負債合計	657,031	693,845
固定負債		
社債	14,060	10,055
長期借入金	187,023	168,293
繰延税金負債	19,139	25,979
退職給付引当金	34,917	35,642
役員退職慰労引当金	457	442
その他	68,014	73,753
固定負債合計	323,610	314,164
負債合計	980,641	1,008,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	301,357	393,360
自己株式	△1,292	△1,379
株主資本合計	613,931	705,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,882	39,903
為替換算調整勘定	△46,448	△37,556
その他の包括利益累計額合計	△18,566	2,347
少数株主持分	1,448	3,054
純資産合計	596,813	711,248
負債純資産合計	1,577,454	1,719,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	898,020	1,125,638
売上原価	719,675	812,243
売上総利益	178,345	313,395
販売費及び一般管理費	135,088	162,693
営業利益	43,257	150,702
営業外収益		
受取利息	649	806
受取配当金	479	578
持分法による投資利益	71	121
不動産賃貸料	302	270
デリバティブ評価益	8,510	10,906
その他	213	824
営業外収益合計	10,224	13,505
営業外費用		
支払利息	1,766	1,342
為替差損	5,115	14,834
その他	1,313	1,807
営業外費用合計	8,194	17,983
経常利益	45,287	146,224
特別利益		
固定資産売却益	432	146
投資有価証券売却益	355	117
国庫補助金	1,725	—
貸付債権譲渡益	325	—
その他	712	61
特別利益合計	3,549	324
特別損失		
固定資産除売却損	768	1,010
減損損失	36	35
固定資産圧縮損	1,725	—
その他	417	201
特別損失合計	2,946	1,246
税金等調整前四半期純利益	45,890	145,302
法人税等合計	5,404	45,404
少数株主損益調整前四半期純利益	40,486	99,898
少数株主利益	46	87
四半期純利益	40,440	99,811

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,486	99,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,253	12,021
為替換算調整勘定	△7,648	8,798
持分法適用会社に対する持分相当額	7	94
その他の包括利益合計	△9,894	20,913
四半期包括利益	30,592	120,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,546	120,724
少数株主に係る四半期包括利益	46	87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	45,890	145,302
減価償却費	27,717	29,722
減損損失	36	35
賞与引当金の増減額（△は減少）	67	161
製品保証引当金の増減額（△は減少）	535	496
工事損失引当金の増減額（△は減少）	533	10
退職給付引当金の増減額（△は減少）	94	484
受取利息及び受取配当金	△1,128	△1,384
支払利息	1,766	1,342
デリバティブ評価損益（△は益）	△8,510	△10,906
持分法による投資損益（△は益）	△71	△121
固定資産除売却損益（△は益）	336	864
売上債権の増減額（△は増加）	13,979	1,198
たな卸資産の増減額（△は増加）	5,974	18,080
仕入債務の増減額（△は減少）	15,633	2,436
リース投資資産の増減額（△は増加）	560	△411
営業貸付金の増減額（△は増加）	1,806	△10,494
賃貸用車両及び器具の増減額（△は増加）	△6,282	△5,755
預り金の増減額（△は減少）	5,873	4,884
その他	13,600	△2,079
小計	118,408	173,864
利息及び配当金の受取額	1,148	1,409
利息の支払額	△1,867	△1,003
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△7,413	△16,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,276	157,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,409	△5,889
有価証券の売却による収入	1,712	10,966
有形固定資産の取得による支出	△26,363	△37,595
有形固定資産の売却による収入	1,520	681
無形固定資産の取得による支出	△2,196	△1,991
投資有価証券の取得による支出	△7,047	△15,644
投資有価証券の売却による収入	6,577	9,753
貸付けによる支出	△45,481	△30,869
貸付金の回収による収入	44,791	33,248
その他	△1,538	△785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,434	△38,125

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△13,928	△13,088
長期借入れによる収入	893	2,652
長期借入金の返済による支出	△5,665	△5,292
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△20,005	△5
配当金の支払額	△3,501	△7,786
その他	△457	△733
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,663	△24,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,340	5,884
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	39,839	101,446
現金及び現金同等物の期首残高	258,084	328,947
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	21,320	122
現金及び現金同等物の四半期末残高	319,243	430,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前題に関する注記)

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
該当事項はありません。

(その他注記情報)

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
(特別利益)

その他特別利益のうち、680百万円は航空宇宙事業において過年度にその他特別損失（たな卸資産評価損）を計上したたな卸資産の売却に伴う戻入等であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	830,425	41,685	16,264	888,374	9,646	898,020	—	898,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,572	—	20	1,592	7,147	8,739	△8,739	—
計	831,997	41,685	16,284	889,966	16,793	906,759	△8,739	898,020
セグメント利益	39,694	1,883	391	41,968	1,049	43,017	240	43,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,052,692	53,536	15,685	1,121,913	3,725	1,125,638	—	1,125,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,630	—	303	1,933	6,476	8,409	△8,409	—
計	1,054,322	53,536	15,988	1,123,846	10,201	1,134,047	△8,409	1,125,638
セグメント利益	142,272	6,894	166	149,332	1,126	150,458	244	150,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

〈 2014年3月期 第2四半期決算 参考資料 〉

＜単位＞金額：億円、台数：千台、比率：％

	2013年3月期 第2四半期累計期間 (2012. 4. 1～2012. 9. 30)	2014年3月期 第2四半期累計期間 (2013. 4. 1～2013. 9. 30)			2013年3月期 通期実績 (2012. 4. 1～2013. 3. 31)	2014年3月期 通期予想 (2013. 4. 1～2014. 3. 31)			2014年3月期 前回通期予想 (2013. 4. 1～2014. 3. 31)
		増減	増減率	増減		増減	増減率		
売上高	8,980	11,256	2,276	25.3	19,130	23,000	3,870	20.2	20,800
国内	3,098	3,306	208	6.7	6,718	6,437	▲ 281	▲ 4.2	6,081
海外	5,883	7,951	2,068	35.2	12,411	16,563	4,151	33.4	14,719
営業利益	433	1,507	1,074	248.4	1,204	2,780	1,576	130.9	1,980
利益率	4.8	13.4			6.3	12.1			9.5
経常利益	453	1,462	1,009	222.9	1,006	2,720	1,714	170.4	1,930
利益率	5.0	13.0			5.3	11.8			9.3
当期純利益	404	998	594	146.8	1,196	1,780	584	48.8	1,210
利益率	4.5	8.9			6.3	7.7			5.8
営業利益増減要因		為替レート差	872			為替レート差	1,334		
		売上構成差等	213			売上構成差等	437		
		原価低減等	135			原価低減等	174		
		諸経費等増	▲ 96			諸経費等増	▲ 260		
		試験研究費増	▲ 50			試験研究費増	▲ 109		
為替レート	80円/US\$ 103円/EURO	98円/US\$ 129円/EURO			82円/US\$ 106円/EURO	97円/US\$ 127円/EURO			92円/US\$ 122円/EURO
設備投資	339	273			702	720			670
減価償却費	247	260			559	550			550
試験研究費	249	299			491	600			590
有利子負債残高	3,301	2,918			3,072	2,700			2,800
業績評価		・2期連続の増収、増益 ・売上台数、売上高、各利益ともに 全ての半期を通じて過去最高				・2期連続の増収、増益 ・売上台数、売上高、各利益ともに 過去最高			
日本売上台数	72	87	15	21.3	163	170	7	4.1	156
登録車	45	62	16	36.1	113	116	4	3.1	102
軽自動車	27	26	▲ 1	▲ 3.8	50	54	3	6.4	54
海外売上台数	276	305	29	10.4	561	637	76	13.6	596
北米	181	228	47	26.0	390	471	80	20.6	420
欧州	36	22	▲ 14	▲ 39.3	61	50	▲ 11	▲ 18.1	54
中国	27	19	▲ 8	▲ 28.8	50	44	▲ 6	▲ 11.9	51
その他	33	37	4	12.0	60	72	13	21.0	70
連結売上台数総計	348	393	44	12.7	724	807	83	11.4	752
生産台数合計	360	390	31	8.5	764	815	51	6.6	758
日本	273	310	38	13.8	583	652	69	11.8	594
米国	87	80	▲ 7	▲ 8.0	181	163	▲ 18	▲ 9.9	164
売上高 事業別	自動車 8,304 航空宇宙 417 産業機器 163 その他 96	10,527 535 157 37	2,223 119 ▲ 6 ▲ 59	26.8 28.4 ▲ 3.6 ▲ 61.4	17,790 891 301 147				
営業利益 事業別	自動車 397 航空宇宙 19 産業機器 4 その他 10 消去・全社 2	1,423 69 2 11 2	1,026 50 ▲ 2 1 0	258.4 266.1 ▲ 57.5 7.3 1.7	1,110 68 6 16 4				

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上台数

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

注4. 国内生産台数合計にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2013年10月31日

富士重工業 2014年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2014年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>

スバル車の販売は、フォレスター、インプレッサの販売が好調に推移したことにより、米国が前年同期比27.1%増の209千台と海外販売を牽引し、海外合計では同10.4%増の305千台となりました。国内も同21.3%増の87千台となり、全世界合計は同12.7%増の393千台となりました。

連結売上高は、為替の円高是正、売上台数の増加等により、同25.3%増の1兆1,256億円となりました。

<2014年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

連結損益は、為替の円高是正、売上構成の改善、原価低減の進捗等により、営業利益が前年同期比248.4%増となる1,507億円、経常利益は同222.9%増の1,462億円、当期純利益は同146.8%増の998億円となりました。

なお、全世界販売台数、海外販売台数、米国販売台数、連結売上高、各利益段階のいずれも全ての半期を通じて過去最高^{*1}となりました。

<2014年3月期 通期連結業績見通し>

通期販売台数見通しは、前回予想に対し55千台増の807千台に上方修正します。通期連結業績見通しは、為替レートを見直すと共に、売上構成の改善等を見込み、連結売上高2兆3,000億円、営業利益2,780億円、経常利益2,720億円、当期純利益1,780億円に上方修正します。

全世界販売台数、連結売上高、各利益段階のいずれも過去最高^{*2}となる見通しです。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥97/US\$、¥127/EUROです。

第2四半期累計期間業績ならびに通期連結業績見通しを踏まえ、第2四半期末及び期末の1株当たりの配当を前回予想からそれぞれ10円増配の20円とします。この結果、1株当たりの年間配当金は、20円増配の40円となる予定です。

※前回（2013年7月31日）公表の通期連結業績見通し

売上高2兆800億円、営業利益1,980億円、経常利益1,930億円、当期純利益1,210億円、
想定為替レート¥92/US\$、¥122/EURO

*1：中間連結決算の開示を始めた2001年3月期以降の過去最高

*2：通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。